

生産情報

農業振興課 二上 拓哉



○リンゴの生育状況

今年の積雪状況は昨年並に推移しましたが、2月下旬以降の気温が高く経過した事から早い地点では3月13日に消雪日を迎え、昨年よりも2週間程早い消雪となりました。しかし、消雪が早かったものの3月下旬以降の気温が平年より低く経過したため生育はやや鈍くなり、ふじの発芽はリンゴ研究所で4月6日と昨年より4日遅く、平年より3日早い生育となっております。

開花については、今後の気温が平年並みに推移した場合、黒石のりんご研究所で、ふじで5月7日頃と予想されます。今後の天候によって生育が前後することも予想されますので、春の作業は計画的に準備を行いまししょう。

○春の低温に注意

開花期から幼果期における降霜や、低温による凍霜害の発生が懸念されることから、防霜ファンを設置している園地では機器の始動点検を行い、稼働状況を確認して下さい。防霜ファンを設置していない園地では燃焼資材の準備を行い、被害の軽減に努めて下さい。燃焼

資材を使用する場合は、周辺環境にも十分に配慮しましょう。

○良品果実生産にむけて

高品質かつ大玉果実生産にむけて授粉を積極的に行いましょう。授粉作業を行うことで結実量を安定的に確保し、奇形果実となるのを防ぎます。

人工授粉を行う場合は、交雑和合性に注意し、中心花を主体に授粉し早く咲いた花から行いましょう。

○展葉一週間後頃の薬剤散布

リンゴの生育が早めに経過していることから『展葉一週間後頃』の薬剤散布は早い地区で、4月20日頃になる見込みです。黒星病は昨年同様に菌密度が高い状況と考えられます。リンゴの生育は平年より早めに経過していることから『展葉一週間後頃』の薬剤散布は早い地区で、4月23日頃からとなる見込みです。黒星病は昨年同様に菌密度が高い状況と考えられます。そこで、薬剤による防除効果を最大限活かすために重要ポイントをお知らせします。

■散布間隔10日以内を守る

昨年と同様に黒星病対策の薬剤は予防効果のみとなりますので、降雨前防除で散布間隔をしっかりと守りましょう。

■散布量・散布速度に気をつける

散布量が少ないと、薬剤が葉に付着する量も少なく、内枝などには掛かっていないことが考えられます。

また、散布量を多く出してもスプレーヤの走行速度が速いと散布ムラの原因となりますので適量散布かつ適正速度で丁寧な薬剤散布に努めましょう。

■風が強い日の薬剤散布

風が強い日に散布を行うと、樹全体にまんべんなく薬剤が付着することが困難となり、散布ムラによって黒星病の感染が広がってしまうので風の強い日の薬剤散布は控え、出来る限り無風に近い日に散布しましょう。

これらの事例を踏まえて黒星病の被害を最小限に抑制しましょう。

■農作業事故には十分注意を

農作業が本格化していますので、機械による作業は特に気をつけ、急がず焦らず、安全を心がけ事故の無いように注意して作業を行いまししょう。

散布計画	散布量	散布時期	基準薬剤	希釈倍数	備考
特散	250 μ l	芽出し当時	ベフラン	1,000倍	黒星病対策
1	300 μ l	展葉1週間後頃	ベフラン ダズバンDF マシン油	1,000倍 3,000倍 200倍	○混用順序 ①水→②マシン油→③ダズバン→④ベフラン
2	320 μ l	開花直前	オルフィンF 又はフルーツセイバー アタブロンSC	4,000倍 2,000倍 4,000倍	○黒星病の重要防除時期のため、散布量・散布間隔(10日)を厳守する。 ○殺虫剤は、開花直前・落花直後とも同一薬剤を連続散布する。
3	350 μ l	落花直後	ユニックス顆粒 ジマンダイセン アタブロンSC カルシウム剤	2,000倍 600倍 4,000倍	

りんご病害虫防除暦(特散~3回目)

果実販売動向

販売課 米澤 松太



3月の果実動向は、全体に数量減の保合いで推移しました。イチゴについては、気温高や日照不足など天候に左右され、数量は旬ごとにバラツキがあり、2月下旬からは高値で推移し、特に3月上旬のひなまつり需要期には平年比で約3割の減となりましたが、中旬以降は平年並みになるなど数量が常に不安定となり、全体としては高値基調で推移しています。中・晩柑類については、不知火の露地物も前進化しており、入荷が潤沢であることや、小売りが品揃え程度となっていることから荷動きは鈍く弱含みでの推移となりました。メロン「アールスメロン」については贈答需要で堅調価格となっています。りんごについては、サンふじの値ごろな下位等級品主体に売り場が構成されていますが、それ以上に潤沢な流通量となり、転送品もあふれていることに加え、気温上昇に伴う品質懸念からの買い控えにより、上位等級や中・小玉

を中心に厳しい販売となりました。輸出については、台湾向けがほぼ終了し、香港・タイ向けへ王林・サンふじ・シナノゴールドが出荷されていますが、春節以降は伸び悩み、前年を割り込む数量となる見通しです。一方、野菜類の価格が長期にわたって低迷しています。その要因としては好天で生育が順調で入荷が潤沢なことや、売価格を上げ暖冬傾向にあること、また、高齢化や人口減などで消費が振るわないということもありますが、近年の共働き世帯の増加などに伴う外食・中食需要の高まりを背景に、国内野菜が不安定であることから、輸入野菜を調達する構図が定着していることが主因となっています。

今後の見通しとしては、イチゴの三番果がピークとなり、春商材として量販店の引き合いはありますが、4月までは潤沢な入荷量となり、着色が早く棚持ちが懸念されることから下げ基調の見込みで

あり、中・晩柑類については、不知火・せとかの他甘夏・伊予かん・八朔・セミノール等も出回り、保合いで推移する見込みです。りんごについては、サンふじ在庫が膨らんでいることから、後半へのずれ込みが予想され、現状の販売環境では、小売価格を上げての販売が困難なことから保合いでの販売が続く見込みです。黄色系については、王林からシナノゴールドへ切り替え、また、有袋ふじも取り扱います。量販店もあることから当面サンふじと併売し、品質管理を徹底しながら売場の維持を図ります。



別表

品 種	サンふじ	ふ じ	王 林	ジョナ	む つ	その他	合 計
単 価 (円)	2,623	5,367	2,915	2,735	4,656	2,726	2,703
前 年 比 (%)	90	111	109	95	93	97	97
在庫数量 (ト)	36,832	22,843	4,043	12,079	133	4,198	80,128
前 年 比 (%)	180	91	61	83	46	105	113

単価は全農あおもりデータ（3/26累計）、在庫数量は県りんご果樹果作成（3月末）

直売所「林檎の森」

直売所 長見さくら



初めまして、私は4月からJA相馬村直売所に新しく配属になりました。長見さくらです。

直売所に配属が決まったと聞いた時は、どんなところだろうと思いましたが、初めて来てみると何でも置いてあるなと思いました。すぐにレジに立たせてもらいました。高校生の際にスーパーでアルバイトをしていたので少し生かせることができました。

直売所には仕事内容が沢山ありますが、その中でも特に頑張らなといかない事はラップで野菜を包むことです。なかなか自分で思った通りに行かず、くしゃくしゃになってしまう事があります。後はパソコンの作業です。まだメモを見たり、教えてもらいながらでなければ出来ないの、自分で努力して覚えてやっていきます。

直売所のスタッフの方たちはみんな優しい方たちです。分からないことはすぐに聞いて、正確に仕

事を素早く出来るようにして、教えてくれた先輩達のように出来るように頑張りますのでよろしくお願ひします。

4月27日～5月12日まで湯口支所前の駐車場で花と緑の市を開催いたします。

花・野菜苗・肥料・鉢なども販売しております。ぜひ足を運んでお越しくださいませ。

花と緑の市



いきいき女性部通信

農業振興課 女性部 堀井裕子



3月15日、JA女性部長・フレッシュミズ・エルダーミセス部会代表者・事務局合同会議が行われ、大黒谷より子部長と参加してきました。

フレッシュミズ活動の作文コンクール表彰式と30年度事業について各JAより報告があり、女性部員増加運動の実施取組事例などを話し合いました。

部員の現状維持に努める組織が多く、エルダーミセス会やフレッシュミズ会の消滅が後を絶たない現状を目の当たりにしました。

しかし、その中でも60歳の定年を迎えた方や非農家でありながらもJAの企画した旅行に興味を持った人など、農協には足を運ぶ機会の少なかった人の加入によって部員が増加したところもあり、成功例として紹介されていました。

午後の部では研修会として、JA全国女性組織協議会、事務局長の堀田亜里子氏より「JA女性組織のすすむべき道」と題して講演が行われました。

JA女性組織とは、「困ったときに助け合い、みんなで意見を持ち合う事で、住みよい地域づくりをする組織。目標を決めて、足並みを揃えて進むことで活力が生まれる。加工や直売、介護は女性組織の活動から始まった。女性ならではのアイディアや工夫がある」と聞いて、改めて地域で輝くために必要な活動だと思いました。

女性部では、部員を大募集しています。いろんな事に挑戦してみたい方、料理や健康に興味のある方、やってみたいことをみんなで挑戦してみませんか？

仲の良い友人、知人をお誘い合わせの上、お気軽にお問い合わせ下さい。是非お待ちしております。



JA女性組織について話す堀田さん